

# 審議会等会議録様式

平成25年度

## 第24回草津市地域公共交通会議 議事録

■日時：

平成25年9月2日（月）10時00分～12時00分

■場所：

市役所 2階特大会議室

■出席委員：

委員：堤（代理 北村）、隠岐、中島（代理 大西）、山田、田中、樋口、川瀬、前野、  
西蔵、後藤、安井、堤（代理 久保）、塚口、駒井、平野、南、宮下、浜田、馬場、（代  
理 大田）、大田（代理 青木）、西村

事務局都市建設部 川崎、山本、松尾、青木

地域未来研究所：小野田、貞松

随行者：5名

傍聴者：2名

記者：0名

■配布資料

【次第】【座席表】【資料】

資料1 平成25年度 まめバス乗車状況

資料2 平成25年度 往復割引券利用状況

資料3 1日・1便平均乗車状況

資料4 空車状況

資料5 時間帯別利用状況

資料6 回数券利用実績

資料7-①まめバス路線新旧比較表

資料7-②10月以降のまめバス路線改編について

## 1. 開会

---

【事務局】

皆様、本日はご多忙中、お集まりいただき誠にありがとうございます。  
交通政策課山本が進行させていただきます。よろしく願いいたします。

開会にあたりまして西村都市建設副部長より挨拶させていただきます。

<<西村副部長あいさつ>>

本日はお忙しいなか、草津市地域公共交通会議に、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

当会議も、今回で24回目を迎えました。前回の会議では、10月からの路線案について承認をいただき、国庫補助申請を実施するため委員の皆様から承認をいただいたところであります。

4月から9月までは本格運行へ移行期間としておりましたが、10月からは本格運行となり、まめバスが大きくかわることとなります。

本日の会議におきましては、10月以降の運行内容を中心に事務局から説明を申し上げ、委員の皆様方のご意見等をお伺いしたく考えておりますのでよろしく願いいたします。

まことに簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

#### 【事務局】

ありがとうございました。

次第に従いまして進行させていただきますが、その前に資料の確認をさせていただきますと思います。お手持ちの資料を確認してください。

次第、委員名簿、座席表、資料1から資料7①-②、まめバスマップの案、近江鉄道の資料がございます。揃っていますでしょうか。もし資料が抜けていましたら事務局までお申し出ください。

それでは、会議を進めてまいります。本日の会議は、草津市地域公共交通会議設置要綱第6条第7項の規定に基づき、公開で始めさせていただきますので、よろしく願いします。

本日の委員のご出席は、28名中21名であり、設置要綱第6条第3項に定める過半数以上の出席を得ておりますことから、本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会にあたり、委員長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。委員長よろしく願い申しあげます。

#### 【委員長】

《委員長の挨拶》

改めまして、おはようございます。

朝早くからご出席頂きまして有難うございます。

本日の公共交通会議の趣旨ですが、これにつきましては、今、西村副部長さんより詳細にご説明がありましたので繰り返すことはやめたいと思いますが、まめバスの運行状況と最新の動向を確認していただいた上で、いよいよ10月より本格運行となります、まめバスにつきまして皆様からのご意見を頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(議事進行)

1. 平成25年度のみめバス運行について
2. 10月以降のみめバス路線改編について
3. 4条路線の運行について

**【事務局】**

どうもありがとうございました。  
それでは、これより委員長に議事の進行をお願いいたしたいと思っております。  
委員長よろしく申し上げます。

**【委員長】**

それでは議事に入らせていただきます。  
まず議事の1番目の「平成25年度のみめバス運行について」の①～⑥につきましては、今年度の実績にかかる資料でありますことから一括での説明を事務局より申し上げます。

**【事務局】**

各資料の説明

1. 平成25年度の乗車状況

毎月の平均利用者を見ましても524人多い7,249名の利用と昨年度より多くの利用が見られます。

しかしながら、全体の収支状況については昨年度より収支率が低下している路線もございます。

収支率の低下の原因についてですが、予備車を各事業所に1台確保しておりますが、予備車の費用等について昨年度は3路線で見えていたところ今年度は2路線で按分となり、いわゆる1路線に対する予備車の経費が昨年度は1/3の計上となっておりましたが、今年度は2路線ですので1/2が計上となり全体の経費としても増加しているところであります。

山田線につきましては、前回の地域公共交通会議の中では、改編により延伸するとお伝えしておりましたが、今年の8月19日より路線を延伸いたしました。延伸ルート図につきましては、資料1の次に改編図を付けさせていただきます。

この改編時に、昨年度、店舗の駐車場内を走行中に急ブレーキしたことによりまめバス車内で事故があり、駐車場の走行は危険が伴い運転状況が大変厳しいと判断し、安全に運行するために「コーナン・ハズイ西店前」「農協山田支店」バス停留所の運行を廃止いたしました。

事後になって誠に申し訳ありませんが報告させていただきます。また笠縫東常盤線の「マックスバリュ駒井沢店」、「農協常盤支店」の駐車場内においても10月1日の改編で進入はやめます。

## 2. 往復割引券の利用状況

毎月約4割の利用が見られ前年より若干増加しています。

今後も引き続き実施していきたいと思っております。

## 3. 1日平均、1便平均

昨年度とダイヤ、路線に変更もありませんでしたので昨年度と似た利用状況であります。

下記のグラフをご覧くださいと、今年に入り1日あたりの平均乗車数を見ますと中心市街地線、南笠笠山医大線については暖かくなるにつれ利用が増えてきているのに対し、山田線の利用が減ってきている傾向にあります。原因は分かりかねますが、8月19日に山田線の路線を一部改編いたしましたので、今後の動向を見たいと思っております。

## 4. 空車率

いずれの路線も空バスの割合は20%以下であり、空バスが多い時間帯が過去の運行から見えてきましたので、10月からの改編のダイヤにつきましても踏まえて検討いたしました。

## 5. 各路線ごとの平均利用者

黄色く色がつけてあるのがその月で最も多く利用されていた時間帯が示しており、また見にくいですがグレーの色がついてあるのが、その月で最も少なかった時間帯であります。

右端には4月からの各時間ごとの利用者平均も算出しております。各路線ごとに特徴などがあり、日中に利用が多い路線や朝の通勤時に利用がある路線が様々ございます。

10月からの詳しいダイヤ等につきましては後ほど説明させていただきます。

#### 6. 回数券利用状況

昨年度は全体で利用者の3人に1人が回数券を利用されている状況でありました。今年度は36%が回数券を利用されているところであり、徐々に利用されている人が増えていることがわかりました。

実施して1年が経ち利用者の方にも馴染んできたのかと考えており、今後も実施していきたいと考えております。

以上が簡単でございますが、平成25年度のみめバスの利用実績でございます。

#### 【委員長】

それでは平成25年度のみめバス運行状況について事務局から説明をしてもらいましたが、委員のみなさまより質問等ございましたらお受けいたします。

事務局に伺いますが、この資料は本日はじめての配布ですか？

#### 【事務局】

はい、そうです

#### 【委員長】

それでは、少し時間をもうけますので、資料の方をご理解いただいてからご発言ございましたら私の方に会釈してください。

#### 【A委員】

予備車が占める割合は全体のどれくらいになりますか

#### 【事務局】

実際走っているバスと同じだけで4台ですが予備車も合わせますと合計6台分の費用がかかっています。全体では10～15%です。

#### 【B委員】

たくさんの資料を、最新情報を入れて用意して下さり、また事務局のご苦労ありがとうございます。

駐車場の乗り入れの件ですが、当初は高齢者の方々の利便性の確保ということで作られたと記憶しています。

事故の件は初めて聞いたので驚きましたが、一つは他にも事故があったのか、もう一つは、スーパー等の駐車場の中に公共交通が入る事、駐車場が狭いなど

の事情があるのだと思いますが、マックスバリュが閉鎖となる、その事情の説明をお願いしたいです

#### 【事務局】

事故につきましてはマックスバリュでありました。その他はヒヤリとした事は何度かありますが、実際に怪我があったのはマックスバリュです。もちろん座っておられたのですが、お店のお客さんの飛び出しで、運転手が急ブレーキをかけた際に柱に頭を打たれました。当初はハズイさんでも好評でしたが現在の利用状況を見ますと、(最初は好評でしたが)一日0人もしくは1人なので今回店舗への乗り入れを廃止させていただきました。

イオンさんは乗り入れの設備を整えておられますし、道路の幅員も確保しておられるのですが、まめバスの乗り入れ箇所は一般のお客様の所を走りますので、お客さんも意識がなくバスの前を右往左往されるので運転手さんにとってもリスクにもなりますので、利用者も少ないという事も調べた上、今回廃止させていただきました。

#### 【B委員】

今後また意見を聞いて見直ししてもらわないとニーズに合わないなと思いますので、また宜しく願いいたします。

#### 【委員長】

事故について何か草津警察署さんの方からご意見ありませんか。

#### 【C委員(代理)】

事故の件ですが、座っておられ手摺にぶつかったということですが怪我は軽症でした。結論としては運転手さんが人に怪我をさせたという事になります。草津市からの説明のとおり乗車率のこともあり、危険をとめない運転手さんのリスクが大きいという点で、運転手さんも当然注意されていると思いますが、それだけの設備がされていないという点で無くなりました。

結局運転手さんの過失という事になりますのでバス会社さんにとっては、もう少し注意してもらわなアカンといことで、指導させていただいております。

#### 【委員長】

利便性を高めるということは大切な事ですが安全面も大切ですのでバランスの取れた運行をしていただくという事でご理解いただきたいと思います。

続きまして議事の2番目の「10月からのまめバス路線改編について」というこ

とですが、10月からどのように変わるのか事務局より説明をお願いします。

## 【事務局】

### 7-①. まめバス新旧比較表

こちらの資料はまめバス路線の改編前後で比較が出来る資料となっております。

路線につきましては、前回の生活交通ネットワーク計画の承認をいただくため公共交通会議でご提示させていただきました路線図と変わりませんが、山田線が先ほども申し上げましたが一部延伸となっております。

また南笠笠山医大線と中心市街地線の一部路線を統合させることで草津駅から滋賀医大病院まで乗り換えなく行くことが可能となります。

10月から最も路線が変わるところは笠縫東常盤線であります。以前は、常盤学区を走行して渋川学区の一部を通り草津駅まで行っておりました。当路線の多くは草津駅までの利用が多いことが過去のOD調査でもわかっており、利用者の方からも駅へ早く行きたいというご意見もありました。

栗東市から大宝循環線と宅屋線が渋川学区を通りますため、常盤学区を走っておりましたバスが回り道をせず、直接駅へつなげることが可能となり、乗車時間の短縮へと繋がります。

また近江鉄道株式会社さんで運行されておられている平井循環線と連携することで笠縫東常盤線笠縫東循環の路線をカバーすることが出来、今まで笠縫東常盤線と平井循環線が別々運行しており、2台のバスを走らせておりましたが、連携することで1台のバスで走らせることが出来、お互いに経費削減が実現できるようになります。

### 7-②. 改編内容まとめ

路線名および路線数についてですが、4月から4路線7系統で運行していたところ10月以降は6路線8系統となります。

主な内容については先ほども概ね説明いたしましたが、本数は現行のダイヤと同じ本数を確保しており、資料5にもありました各路線ごとに利用が少なかった時間帯は見直す形でダイヤを編成したところです。

運用車両についてですが、商店街循環と大宝循環線はハイエースでの運用となり、その他の路線については小型バスで運用を予定しております。

全車両イスの方が利用できる車両となっております。

10月からの運行に際しまして平井循環線において、今までは170円～230円の運賃をとられ運行されておられました。10月からの路線では230円区域がなくなり、200円が最大料金となります。一部地域におきまして、平井循環線を利用されれば170円、草津・栗東くるっとバスを利用されれば200円と利用者が困惑す

ることも予想されます。そこで平井循環線におきましても均一料金200円で運行いたしたいと考えております。

子ども料金の見直しについてですが、こちらは今までは6歳未満の幼児は何人乗っても無料という状況でしたが、本格運行に移行する際、路線バスに即した形での運用を考えており、栗東市のくりちゃんバスも大人1名につき2名まで無料とされており3人目以降は子ども運賃が必要となって実施されておりますので、本市におきましても見直しをしたく考えております。

続きまして栗東市との連携する中で大宝循環線と宅屋線において2市間を行き来するようになり、この2路線につきましては、「草津・栗東くるっとバス」として新しいロゴをつけたバスで走る予定をしております。

各バス停は既存のバス停を利用することとなりますが、こちらのロゴをつけたバス停となります。

運行ダイヤにつきまして、先程も申し上げましたように1日の運行本数は現状もしくは若干増えておりますが、利用の少ない時間帯については見直しております。笠縫東常盤線では一部でございしますが宅屋線への乗り継ぎを考慮したところであります。

最後に今後についてですが、今後も市民の方に利用しやすいバスにするために様々なことを検討してまいります。免許返納された方に対して回数券を渡すなど前回の会議でも申しておりましたが、栗東市と連携することにより草津市だけ適用することも難しくなり、2市間での実施に向けて検討してまいります。広報を使ったサービスや商店街との連携、草津市オリジナルのバスを走らせることでPR活動も実施できないか考えております。収支改善策としてバス車内だけでなくバスマップにも広告を募り掲載することを考えており、今回の改編を周知するバスマップには期日も迫っており募ることは出来ませんでした。次回作成時には実施したいと考えております。また音声ガイドなどにも工夫できないか、収支改善策について今後も引き続き検討していきたいと考えております。10月以降の路線改編による周知についてですが、お配りしております「まめバスマップ」を9月15日の広報と一緒に全戸配布を計画しており、市ホームページでも掲載するほかバス車内やバス停にも改編の案内を実施する予定を考えております。

事務局からは以上です。

#### 【委員長】

新しい路線に関するご説明をいただきました。

この説明に関しまして、皆様から、ご質問ご意見があればお願いいたします。



**【B委員】**

非常に簡潔な資料で見やすく、本日は褒めることが多いです。  
4年経ってまめバスが育ってきたなと感慨深く思います。

まめバスマップも詳しく書かれて工夫されていますね。

夏休みは学生さんがたくさん「まめバス」に乗っておられるのを見かけ、そういう姿を見ると随分浸透していると安心です。今回の目玉、栗東市さんとの共同運行でも、こんな可愛いロゴも出来ていてインパクトとなり効果が上がるだろうなと思います。

ただ、駅のところの表示が全路線の看板が、わかりにくいという事がありますので、分からない方でもわかるように表示してほしいと思っております。

**【委員長】**

何かございませんでしょうか？

**【事務局】**

まちづくり協議会の円卓会議の学生さん、特に立命館大学の学生さんの意見の中にも、表示が非常にわかりにくいという意見があって、これはまめバスだけではなくて路線バスも入れ違いで入ってきますので、今後またバス協会さんとも連携を取りながら表示についても検討していきたいですし、是非ともわかりやすい乗り場に変えていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

**【委員長】**

有難うございました。

**【D委員】**

山田に住んでおりますので、先ほどの説明を受けたときに山田路線の乗車率が減っていると聞いて、あれ？と思ったのですが、ご近所でも二人、三人と免許を返納して、まめバスを利用していると言っておられたので、利用率が減ったのはなぜかと思いました。

今後8月19日から延伸したことで山田路線は利用が進むと思っておりますが、高齢者免許返納への割引制度について具体的なところ話が進んでいるのか検討が進んでいるのかちょっとお聞かせください。

**【委員長】**

事務局、お願い致します。

### 【事務局】

高齢者免許返納制度は23年度から草津警察署さんからも何とか考えて欲しいと言われまして、検討に入っているのですが昨年度まで実証運行ということもありまして、まめバス回数券をお渡しても、来年度路線が変わっていたら、何の為にもらったのか分からんということもございまして、検討が進んできて、今回10月から本格運行に入るという事を踏まえまして、前向きに実施したいと思っております。

時期の問題ですが、なるべく早くしたいのですが、今、返納されておられる方もいらっしゃいますので、その方の対象も検討が必要ですし、草津市は早い時期にと考えておりますが、栗東市さんとも調整しないとイケませんし、意見も聞いて、出来るだけ来年度くらいからは何らかの形でやっていきます。

### 【委員長】

ありがとうございました。それではE委員お願いします。

### 【E委員】

国の補助を使っているのですが、なかなか予算が厳しくてご迷惑をお掛けしているのでもここでご理解いただきたいと思えます。

前にも一度説明しましたが、非常に使いにくい補助で、駅につないだだけの系統では補助が出ない、バス停に繋がなければいけないという補助です。

たまたま近江さんが二つの市を跨ぐ単線系統「近江大橋線」が草津駅に入ってきているので、草津駅に繋ぐことで、今回「まめバス」を幹線に繋がるフィーダーの補助として使っていただく、ただし幹線系統には国からしか補助が出ない、赤字部分を半分国が出しているだけで、滋賀県さんは出してくれてないんです。

赤字で走っている部分、これが廃止になったら草津市内フィーダー、栗東も全部使えなくなってしまいます。

そこを認識していただいて「まめバス」だけ乗って頂いても、路線バスに乗ってもらわないと、近江さんの資料にも一部撤退とありますし、路線バスが無くなると「まめバス」の補助も出なくなるので、「まめバス」だけではなくて4条路線の活性化も考えて欲しいです。

まめバスマップにプラス普通の路線バスの時刻表みたいなものを載せていただくと有難いなと思えます。

一緒に利用促進して頂かないとイケないと思えます。

運賃の200円統一という部分で、運賃の認可というのは下げることは寛容ですが運賃170円を200円に上げるということについてはうるさいので、地域公共

交通で承認得ていただきたい、それで届出が簡素化できますので、近江さんでいいので、どこの区間からどこの区間があがるのか明記していただいて、この会議の場でご承認いただけると助かります。以上です。

**【委員長】**

有難うございます。4条路線と「まめバス」が連携しているというところが非常に重要で、この公共交通会議でも4条路線、コミュニティバスの両路線が一体化したものでなくてはならないという認識新たに進めているところでございます。

それではC委員から運賃改定のところを、もう少し詳しく説明お願いいたします。

**【C委員(代理)】**

事務局からもお話がありました平井循環線、事務局と相談させて頂いている流れの中で、やはり高い料金が安くなるのは利用者さんには良いのですが、安いのが高くなることについては非常にどうだという話になるんですが、この10月再編で一部、まめバスマップの後ろに時刻表が載ってますが、一番下に当社がコラボするところの上笠平井循環線で新たに2往復平日運行させていただくのですが、草津駅西口から野村会館まで170円になると、ハローワーク草津から郵便局、上笠天満宮、ワークステーション、笠縫東小学校、平井会館までは一番遠いエリアになりますが、230円等々なんで、上笠郵便局より、平井会館までの方は安くなり、平井橋から草津東高校、福複センターは割高になります。

どうしてもこの笠縫東常盤線を1台で走るので、利用される方が、金額がわかりにくいと、バスに乗ることを回避されるので、この区間はコラボという事もありますので均一にした方が利用者に分かりやすいと思い相談させて頂いて200円に統一とさせていただきました。

**【委員長】**

その区間でご利用される方は多いのですか？

**【C委員(代理)】**

他の路線と比べると小さい区間ではありますが、平均170円区間でご利用の方が6割くらいかと思えます。

**【委員長】**

この公共交通会議で大体の利用をはかっておきたいと思いますが、この件に

つきましてご意見ありましたら承りたいと思いますが、いかがでしょうか？

**【F 委員(代理)】**

まめバスマップのほうで、一つが「まめバス」、「草津・栗東くるっとバス」、「近江鉄道コミュニティバス」となっているんですが、これはこの先バラバラでいくのですか。あと関連として載っていませんが栗東の「くりちゃんバス」と今度一緒になりますのでその辺のPRというのは一切入れないという方向性、あと駅前の案内表示にも「くりちゃんバス」も表示した方がいいのではないのか。

その辺の方向性として「草津・栗東くるっとバス」という名称が全部になるのか、栗東は「くりちゃんバス」になるのか、草津は「まめバス」になるのか合併のところだけが「草津・栗東くるっとバス」と3つを使い分けるのか？将来的な考え方をお聞かせ願いたいなと思います。

**【委員長】**

おそらくこの辺りは議論しておく必要があると思いますが、いかがですか

**【事務局】**

今回10月からは宅屋線と大宝循環線のみを「草津・栗東くるっとバス」という名前でもくりちゃんが乗ったロゴマークを付けて走るようにしております。他の草津地域のコミュニティバスは「まめバス」、栗東地域のコミュニティバスは「くりちゃんバス」、という事で運行を10月からは体系変更させていただきます。

将来に渡りまして今回JRより琵琶湖側で統合させて頂いたわけですが、JRより山手側でも統合した方が運行的にいいというのは引き続き栗東市さんと協議を続けてまいります。

その中で統合ということになりますと、おそらく「草津・栗東くるっとバス」という名前になると思いますが、せっかく「まめバス」というロゴも皆様に周知して根付いているので名前が無くなるのは事務局として考えていかなければいけないと思っております。

今後統合うんぬんとなれば、いずれは市民の皆さんの声も聞きまして一つの名前に統合してもいいかなと検討しています

**【F 委員(代理)】**

それでいくと将来的に「草津・栗東くるっとバス」という形にしたいのはわかりますけれども、そうなるとお客さんからすると、「くりちゃんバス」、「ま

めバス」と3社なので、それが果たして良いことなのどうかの判断をもう少し考えていただきたいと思います。

#### 【事務局】

一つの名前にした方がいいというのはF委員がおっしゃるようにごもつともだと思います、「くりちゃんバス」という名前も「まめバス」も定着していますので、一つにするにしても「草津・栗東くるっとバス」という名前がいいのか今後検討していきたいと、乗る方の意見を重視させていただきまして、10月以降バスがスタートしてアンケート調査等もさせて頂きまして決めていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

#### 【委員長】

遠い将来どういう名称にするのか、また考えていただければと思います。異なる自治体が別々に始めたコミュニティバスを統合していくというのは、非常に、今後重要な考え方だと評価されると思いますので、是非こういうものがうまく運営できるような名称にしていいただければと思います。

「草津・栗東くるっとバス」という形で運営していきたいという事務局のご提案ですので、できれば皆様方こういう形のご提案をお認めいただければと思います。

#### 【事務局】

今の件についてでございますが、9月15日号の草津市広報につきましては紙面のトップでPRさせていただこうと思っております、今後も引き続き、市民の皆様、栗東市の方でも対応してもらいますが、利用促進を図って行きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

#### 【G委員】

料金のところで170円から200円への値上げというところで、他の路線でも有るかなと思うんですが、4条路線170円で、まめバス200円とういところがあると思いますはその辺のところ、考えていった方がいいと思うんですがどうでしょう。

#### 【事務局】

事務局お願いします。

**【事務局】**

確かに4条路線が170円でまめバスが200円というところもございませうが230円を200円のところもありますが、今回の平井循環、笠縫東常盤線は、地域のお実様が迷わないようにというか、このバスは幾らこのバスはどちらやとならないようにというのが第一の目的で、確かに170円の方には申し訳ありませんが、まめバスと整合ということで200円にさせていただきました。コミュニティバスが主体の考え方であるというわけではないのですが理解していただければと思います。

**【G委員】**

できれば安い方に合わせていただく方が皆さん喜んでいただけるかと思えます。確かに乗る側として、このバスは170円このバスは200円となるかとは思いますが、そこは利用者の判断でいいかと思えますが。

**【事務局】**

このバスはというより、時間帯で変わりますので、朝早い便については170円、昼の便については200円となりますので、それがちょっと問題視しております。バスが完全に違えばいいのですが、同じバスが来るので全て200円で考えました。

**【G委員】**

すみません、バスが違うとっていたので、同じなのですね。

**【事務局】**

はい。

**【委員長】**

B委員、手が挙がっていましたね、どうぞ。

**【B委員】**

料金につきましては、一つは、まめバスはグループ経営になったと判断をさせていただきましたのです。

グループ経営というのは、まめバスという1つの単体の草津市が中心の運営のところにも栗東市さんも単体でいらっしやっただけけれど、合弁会社をつくられて、もう一つは近江さんと合弁されグループ化になったと解釈させていただきました。

税金の投入がどんだけかとか詳しくは分かりませんが、目的が交通困難者、いわゆるそういうものを解消するために、同じ目的を持ったものが手を取り合いながら、譲り合いながら作ったグループ経営だと解釈した。

元々、公共交通というのは近江バスさん、帝産バスさん、近江タクシーさん、滋賀交通さんいろんな民間の方々本来の公共的なものを担ってされてたところが、いきなりなったというところ定義が上がってきたところに民間で経営が成り立たないところに、市民の交通困難者等の社会的な草津市の持つ公共的なところを解決する為にコミュニティバスとして、まめバスを発生したわけですから草津市が中心となって赤字覚悟で、補助金に頼りながら、社会を変えていきたいと思います、草津市をより良くしていきましょうという、みんなが平等に行きたいところに行けるようにしましょうというのが、出発だったと思うんですよ。

ところが、だんだんタクシーさんがそれぞれ個々の介護タクシーもされましたし、民間でも近江バスさんも色々な意味でユニバーサル化を図られており、なかなか民間だけでは運営が難しいというのが現状であり、バス、タクシー、まめバスなど選択肢がある中で、どれを選ぶかというのはそこに住んでいる市民です。

先ほど、どのバスがこのバスかという話がありましたが、私が烏丸半島に行きたい時にまめバスに乗りたいから乗るのではなくて、烏丸半島に行きたいという目的があるから、そこに行くなら近江バスさんがあるな、帝産バスがあるな、まめバスはあまり無いな、お金があるならタクシーで行きましょうとか選択は市民がしていくわけで、そこは感じとっていただいて選択肢の中の一つであって、全ての方に移動権が保障されるという事が、元々それが目的だったと思いますので。

200円に上がるという理由付けの中に民間の公平性みたいなところに、まめバスがもう少し寄っていただいて、自分が200円なら乗らないか想像しているのですが、全ての200円の説明ができる意思さえあればそれでいいのではないかと私は思っています。

#### 【委員長】

事務局いかがでしょうか。

#### 【事務局】

グループ化という良いお言葉をいただきましたので、決してコミュニティバスが4条路線バスを吸収するという事は絶対にあってはならないと思っていますので、ただ料金的に考えますと吸収してしまったかのように見えますが、私どもとしては4条路線バスの活性化というものを第一の目的としております

ので、路線バスとコミュニティバスとがグループとなってやっていきたいと思  
いますので宜しくお願いいたします。

**【委員長】**

H委員、この件について何かありますでしょうか

**【H委員】**

私どもとしては、元々バスというのは事業としてスタートした訳で、将来的  
には事業として成り立っていく形で皆様にはご理解していただきたいと思っ  
ております。

コミュニティバス等表現に違和感があるような感じがないわけではありませ  
ん、「まめバス」であれ「くりちゃんバス」であれ、いわゆる市民の方からす  
れば名称はどちらでもいいのかなと思います。

最終的には移動手段の確保というなかで高齢者が増えるなかで一つの事業と  
して、採算が取れるような形で利用者が増えれば良いと思っております。

その為にも、手段として利用者にわかりやすい系統・表示が大事だと思っ  
ております。

例えば草津駅西口と東口がありますが、東口に西口から出ているバスはこう  
いうバスが出ていますという案内もありません。

逆に西口から東口からこういうバスが出ていているという表示もありません。

市内の方は分かるにしても市外の方は、バスはこれだけしか無いのかと、戸惑  
うということがありますので、利用者が戸惑わないように、ご協力させてい  
たきたいと思っております。

バス協会としては将来的には事業としてやっていくというのが一番望ましい  
訳で、その為にも皆様のご協力をお願いしたいですし、その為の啓発・PRに  
ついては頑張っていきたいなと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

**【委員長】**

さらに、ご発言はございませんでしょうか

**【I委員長】**

10月から本格運行ということですが、今後よほどの事が無い限り、本数等の  
見直しが無いという理解で宜しいでしょうか。

バスと鉄道を乗り継いで、自家用車が無くてもどこへでも行けるという状態  
が続いて欲しいですが。

将来なくなるかもしれないということですが、通学に使う場合など、途中で



バスがなくなったら困るという事で、最初からその学校を選ばないということにもなってしまいますので、ある程度、長く続く路線であれば、またご利用も増えていくのかなという気もするのですが。

今後の見直しの考え方について伺えればと思いますがいかがでしょうか。

**【委員長】**

これは重要な意見だと思います。事務局お答えをお願いします

**【事務局】**

はい、有難うございます。

本格運行として運行していくんですが、やはり国の補助も頂いておりますし、市も税を投入します、国の補助も国の税の一つですので今の利用状況よりも悪くなっていくという事になれば、見直しはしていくべきと思っております。

ここ1ヶ月ほどの間で各学区地区の方にも改編にあたって説明会に入らせていただきましたが、その中でもご質問がありまして、本格運行になったら永久的にするのか、どうなのかという意見、少なくともこの1年様子を見て、来年も見ますけれどといったところ、逆に1年に1回でいいから利用状況を教えて欲しいとおっしゃっております、税を投入しているのですでずるいくのではなくて、連合会、町内会でも考えていかなければいけないとおっしゃってくださっていますし、見直しするべきという意見も頂いているので、やはり今後利用状況等は見えていく方向で進めて行きたいと思っております。

**【委員長】**

J Rさんにとっては4条路線もフィーダーにあたり、持ちつ持たれつで、ともにお客様を増やしていただければと思います。

公共的なものになりましても、どんな状況でも変えないのはおかしいですし、直ぐ変えるというのもよろしくない事でございますから、実験ではございませんけれども、こういう会議で利用状況等のご報告を頂きながら議論をしていただいて、公共交通会議として提案し最終的に決定いただくというかたちで続けていただきたいと思えます

**【G委員】**

何回もすいません、笠縫東常盤線・平井循環線で、近江鉄道コミュニティバスとなっていますが、まめバスの名前も残してロゴも残した方が良いと思います。

なぜこのような名前になっているのですか。

**【事務局】**

この路線の名前については案ですので、また分かりやすく考えて変えます。

**【A委員】**

本格運行以降の希望ですが、経営基盤が安定していかなければ大事になってくると思いますが、学区において目標値を出し続けてほしいと思っています。

今の段階で安心してしまうと何か学区としても、色あせてしまうのではないかと、このような思いをもっておりますので、よろしく願いいたします。

**【委員長】**

学区地区の方にも入りまして、続けていきたいと思っておりますので、またご協力お願いします。

**【委員長】**

安心してもらっては困りますので、危機感を持つ必要はないですが、実態をきちんと市民の皆さんにご理解いただくような広報活動が非常に必要だと思いますので、よろしく願いします。

他にご意見ございませんか。

それでは、ご意見も出尽くしたようでございますので、この第2議題につきましては特に議決する事項ではないと理解していましたが、先ほどの運賃改定については、ここでご承認していただく必要がありますので。

いかがでしょうか。170円から200円の負担になることは、値上げになります。同じバスが時刻帯によって料金を変えて走るというのは分かりにくい事です。4条路線が主であってそれを側面から支えるものとして、「まめバス」といったコミュニティバスがあるという認識は変わらない訳ですが、両者が連携いたしまして、より市民が便利で分かりやすい交通手段になるということで、今回均一料金200円でご提案されてますので、公共交通会議で議論を重ねた上で、今回は200円で統一させていただくということで、了解事項よろしいでしょうか。

第3議題以降、よろしいでしょうか。

C委員、ご説明お願いいたします。

**【C委員(代理)】**

《10月1日ダイヤ改正について説明》

- ① 浜街道線                      新堂経由への経路変更

- 一部系統の廃止(草津駅西口～矢橋帰帆島)  
近江大橋線 一部新道経由への経路変更  
全便イオンモール草津経由
- ② 烏丸下物線 志那発便の廃止(土曜日のみ)
- ③ 草津イオンモール線 一部系統の新設(草津駅西口～矢橋帰帆《10月1日  
ダイヤ改正について説明》  
廃止(土曜日のみ)
- ④ 草津山田線 一部系統の廃止

**【委員長】**

有難うございました。

何か、ご質問はございますでしょうか。

それではもう一つ資料があります、2013バスの日まつりinびわこですので、H委員からお願いいたします。

**【H委員】**

お配りしているチラシですが、バスの日まつりということでございます。

京都で最初にバスが走ったという事でその日を記念いたしましてその日に合わせまして、9月7日(土)にピエリ守山さんの駐車場でまつりを開催します。

昨年もピエリ守山さんで開催させていただき、たくさんご来場をいただきました。目的はバスに乗る機会が少ないという現在の中で、子供さんをはじめバスに親しんでもらうという事が目的でございます。

内容的にはバスの車両の展示ということでトーマス号や忍者号、JRさんの展示、お絵かきバスということで白い車体に絵を描きてもらいます。

バスグッズ・廃品、バスの部品など、物産の販売などです。

目玉は、ゆるキャラが3体、彦根のひこにゃん・地元守山のモーリー・警察さんのけいたくんに集まってもらうという事になってます。

これを機会に是非バスをご利用の上ご来場をいただければと思います。

時間は10時から16時で荒天中止となっております。

**【委員長】**

有難うございました。

議事が終わったところですが、事務局から何かお知らせはありませんか。

**【事務局】**

10月からの本格運行、それと共同運行等に伴います経過等を見ながら今後、皆様方にご説明させていただくのは来年の2月ごろを思っております。

運行形態等につきまして市の方針として、今年の2月22日にご了承をいただいたのですが、収支率の低い路線についての取り扱いについて議論が必要な場合はこれより以前に開催を考えさせていただく必要があるかと思っておりますのでよろしくお願いたします。

今、考えております2月の開催の時に収支率、乗車率のご説明と26年度の運行状態についてご説明できるものと考えておりますのでよろしくお願いたします。

#### 【委員長】

本日の予定を終了しましたので、進行を事務局にお返ししたいと思います。

#### 【事務局】

委員長におかれましては、議事進行の大役、誠にありがとうございました。また、委員各位におかれましては、ご意見等いただき、誠にありがとうございました。

最後に次回の会議についてですが、次回の会議は本格運行後の利用状況等を報告させていただきたく考えておりますが、現在のところ日程については決めておりませんので決定次第、委員の皆様へ通知させていただきます。

ここまでの説明で何か不明な点、連絡等ございませんでしょうか。

これをもちまして、閉会とさせていただきます。

長時間にわたり、慎重なご審議を賜りありがとうございました。